

アドフラット

- 工事現場と同じ環境との調和を考え開発し、永い間みなさまに愛され仮囲いの定番品となりました。デザイン性と利便性が評価されグッドデザイン賞（ロングライフデザイン）を受賞しました。



現場と環境を調和します

凹凸がなく、真っ白なアドフラットホワイトを使用することで、工事現場と環境との美しい調和を実現させることができます。

デザイン

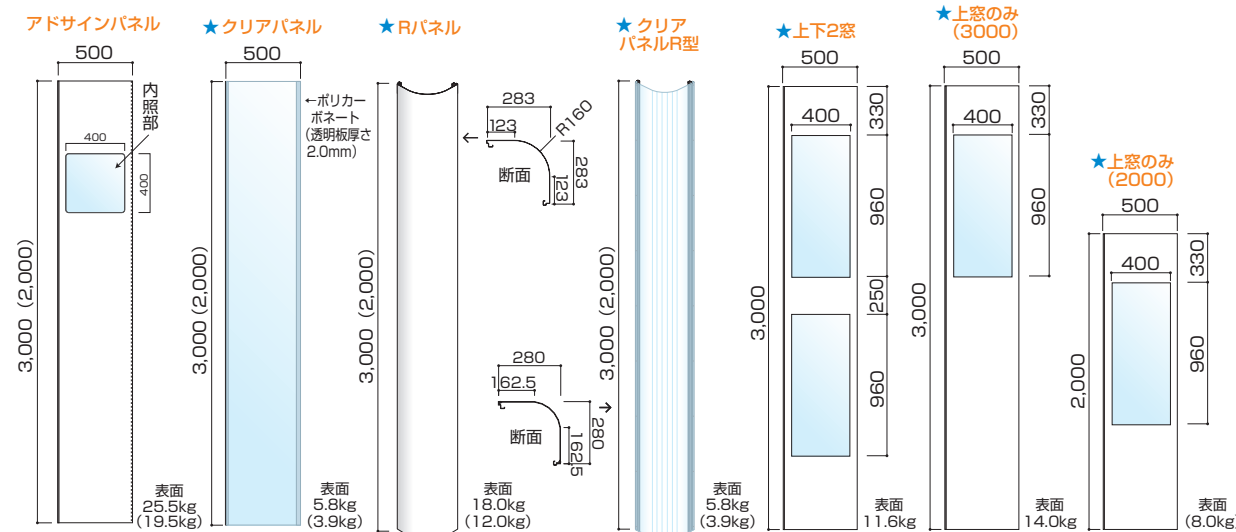
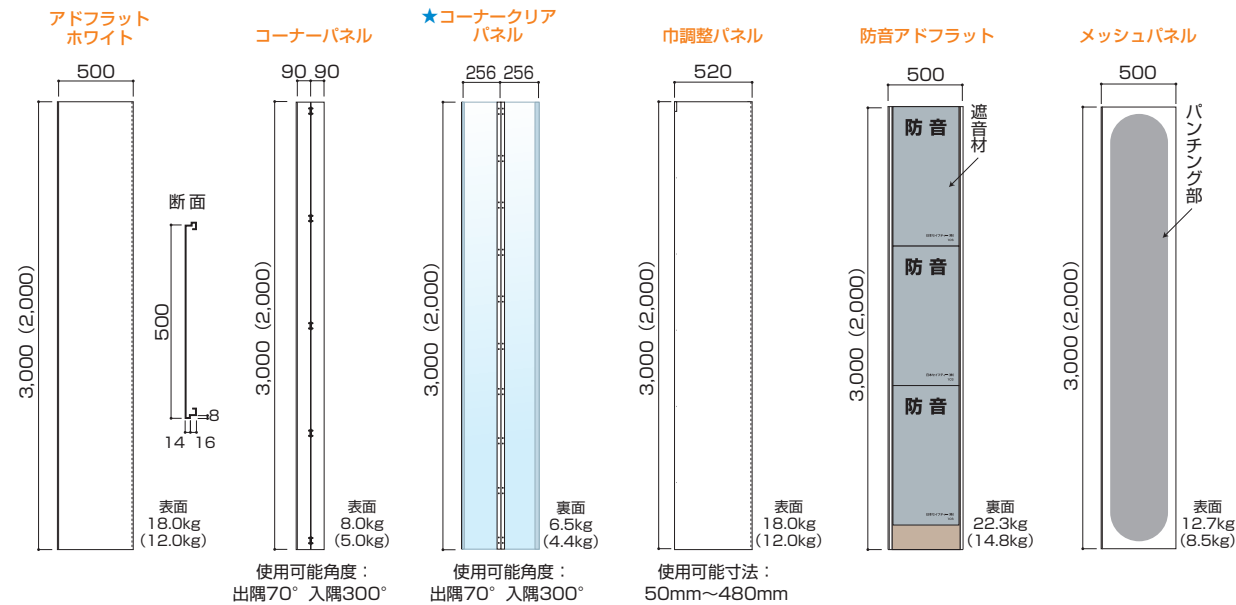
表面がフラットなので広告媒体として利用が可能です。

安全性に優れた面板

表面に突起物が無いので衣類や身体の一部をひっかける心配がありません。

製品図

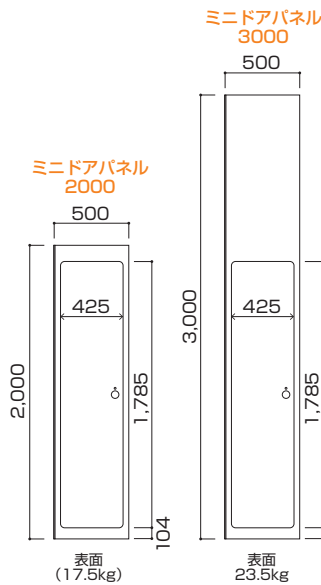
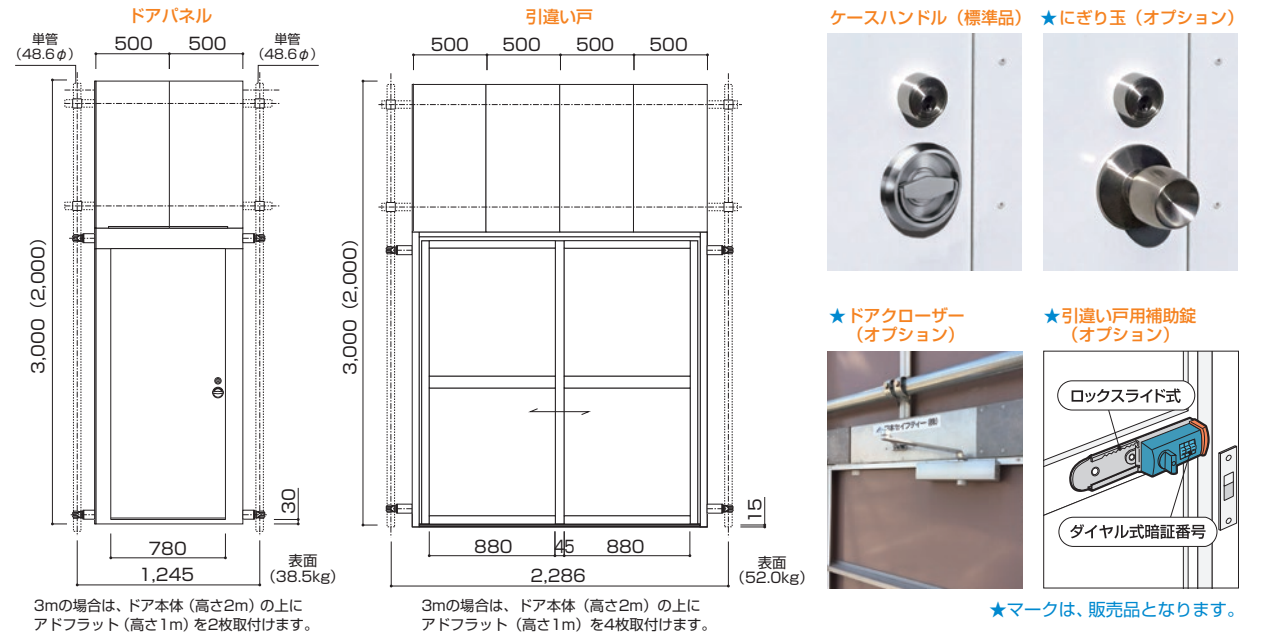
単位(mm)



※ () 内数値は、2,000mmの値を示します。
★マークは、販売品となります。

製品図

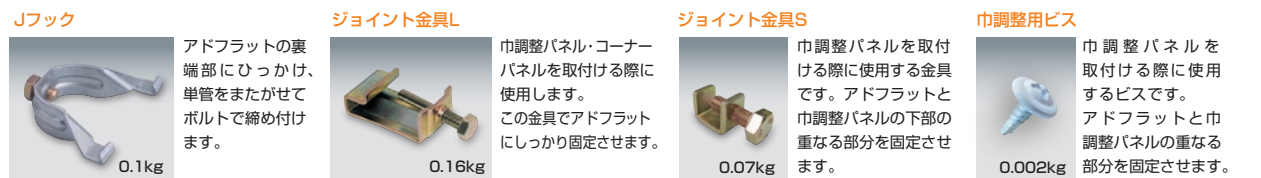
単位(mm)



アドフラット必要金具数量

	アドフラットホワイト		コーナーパネル		コーナーパネル(クリア)		巾調整パネル		ドアパネル		ミニドアパネル		引違い戸	
	3m	2m	3m	2m	3m	2m	3m	2m	3m	2m	3m	2m	3m	2m
メッシュパネル					Rパネル									
防音アドフラット					クリアパネルR型									
上下2窓・上窓のみ					※1		※2		※3					
クリアパネル							※4						※3	
アドサインパネル														
Jフック	6	4			6	4	(3)	(2)	8					16
ジョイント金具L			6	4	(6)	(4)	3	2			7	5		
ジョイント金具S							1	1						

- ※1. Jフックをお勧めいたしますが、ジョイント金具Lでもご使用いただけます。
- ※2. ジョイント金具Lをお勧めいたしますが、Jフックでもご使用いただけます。
- ※3. ドア本体に専用取付金具が付属します。Jフックは高さ3mでお使いの場合に上部のパネルに使用します。
- ※4. 上部の固定をジョイント金具Sで行う場合は、数量2となります。



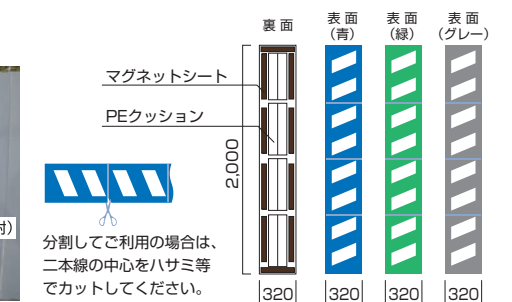
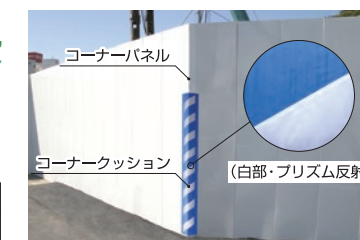
コーナークッションマグネットタイプ (販売品)

マグネットで取付け簡単
危険表示と衝撃防止の2役
高輝度反射で、反射力アップ

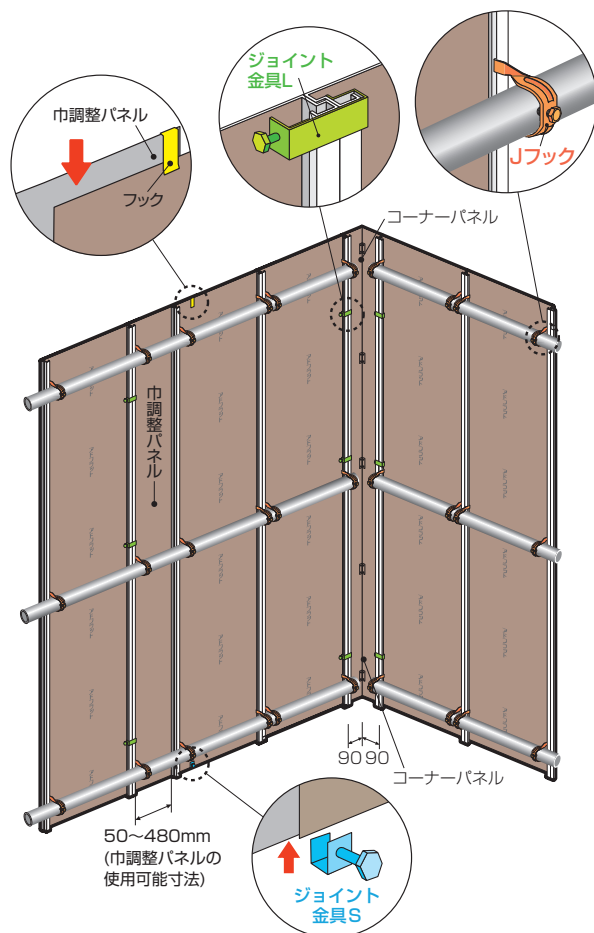
規格物性

材質	本体:PVC 裏面:クッション・PE ゴムマグネット
寸法	巾320mm×高さ2000mm

コーナークッション設置イメージ

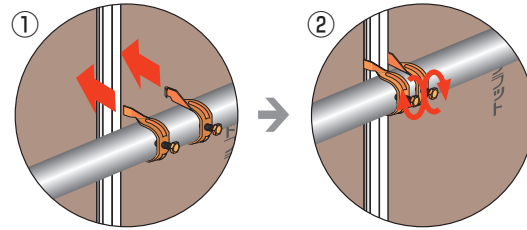


取扱い説明 (アドフラット・巾調整パネル・コーナーパネル・必要金具)



アドフラット (Jフック) の使用方法

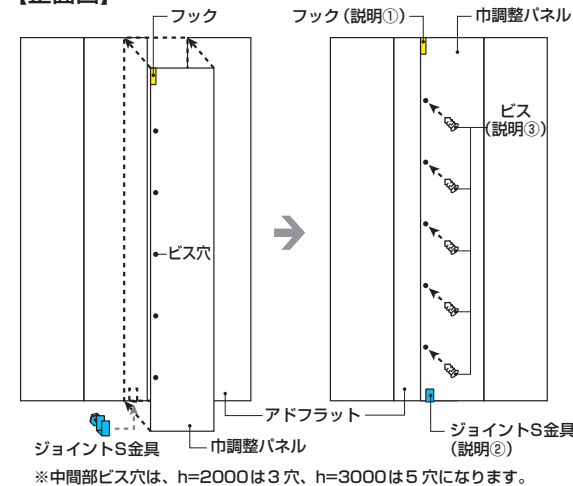
- ① Jフックを単管にまたがせ、アドフラット裏端部に爪を引っ掛けます。
- ② Jフックのボルトを締め、アドフラットを単管に固定します。



巾調整パネル取付け方法

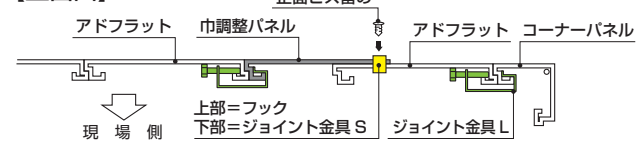
- ① 上部のフックをアドフラットに引っかける。
- ② 下部にジョイントS金具を取付けアドフラットに固定する
- ③ 端部の穴に付属のビスを打ち中間部を固定する。

【正面図】

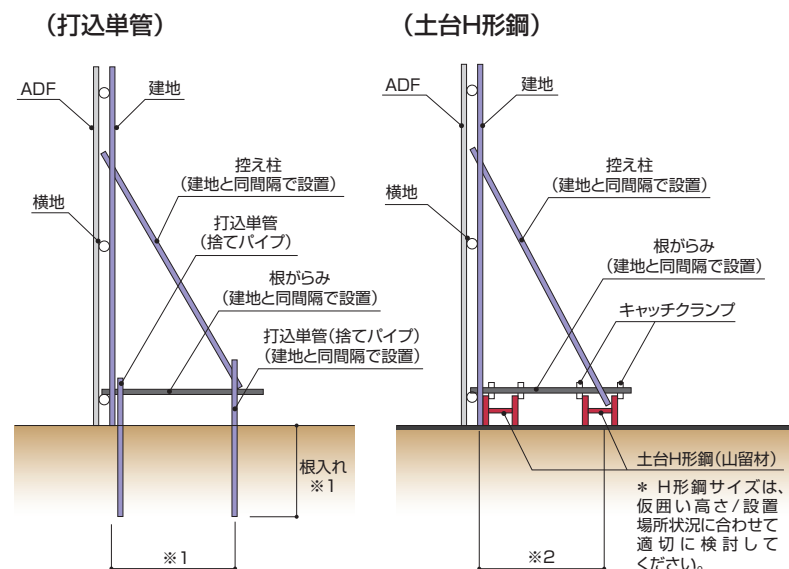


◆ 注意 ◆
 ・アドフラット設置の際には天地逆にならない様にアドフラット表面の文字「アドフラット」の向きに注意してください。
 ・貫通したビスの刃先でケガをする恐れがあります。ご注意ください。

【上面図】



控え断面図

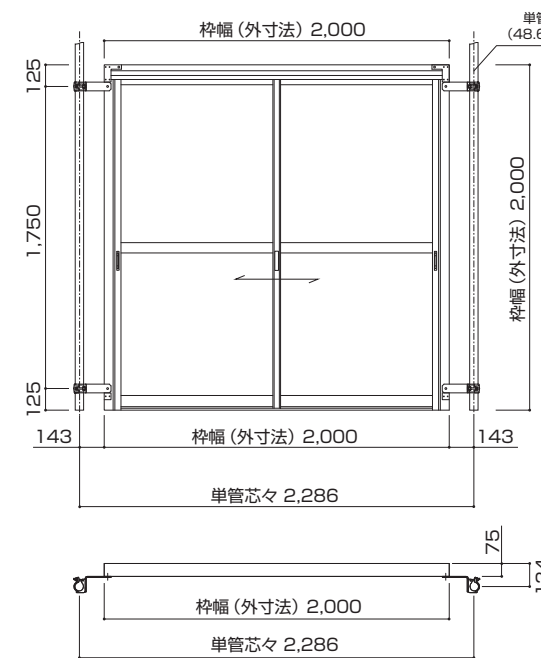


◆ 注意 ◆
 ※事故につながる可能性がありますので、必ず下記注意事項を守って設置してください。
 ・打込単管 (捨てパイプ) の根入れ深さは設置場所の地盤に合わせて適切に検討してください。
 ・打込単管 (捨てパイプ) が設置できない場合には、H形鋼等を用いて仮囲いの転倒を防止してください。
 ・建地と控え脚部の距離 (つなぎパイプの長さ) は、設置場所の状況に合わせて適切に検討してください。
 ・控えは必ず設置してください。
 ・控えは建地と同間隔で設置してください。
 ・盛り替え時は、ADFを取り外してから下地単管を盛り替えて下さい。

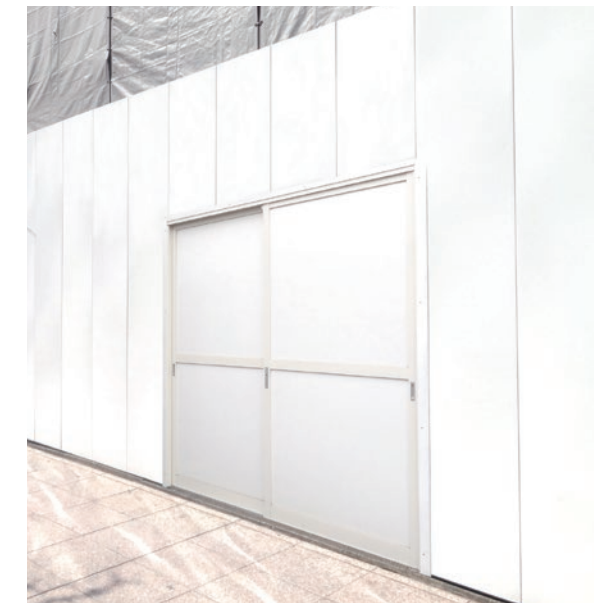
- ※1. 印寸法 (根入れ深さ/建地と控え脚部の距離) は設置場所に状況に合わせて適切に検討してください。
- ※2. 印寸法は設置場所の状況に合わせて適切に検討してください。

アドフラット引違い戸の主な仕様

【裏面】



■ アドフラット引違い戸設置写真 (表側)



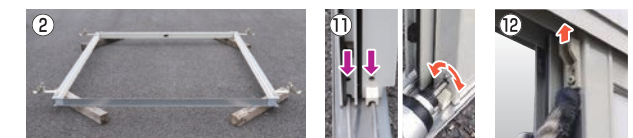
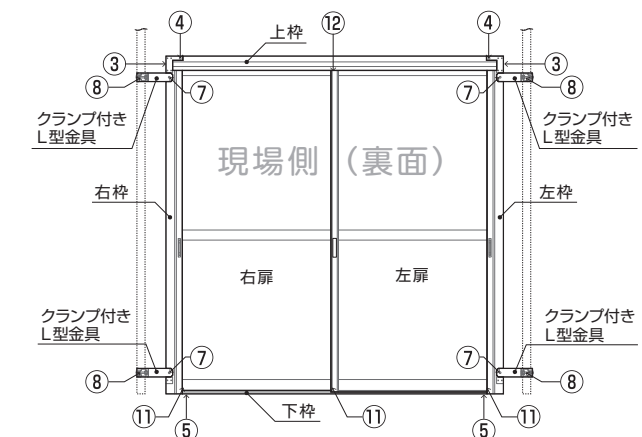
アドフラット引違い戸使用の手引き

■ ドアパネルの取付け方法と取付け手順

- ① 梱包を開梱し、セット内容物に不足がないか確認してください。
- ② 裏面を上にして、それぞれの部材を表面が傷つかない様に台木等の上へ平置きしてください。(右下写真参照)
- ③ 上枠と左(右)枠を合わせ、左(右)枠横内側からボルトを通し仮留めしてください。
- ④ 左(右)枠プレート穴と上枠の上部穴位置を合せ、ボルト、ナットを取付け、仮留めしてください。
- ⑤ 左(右)枠に取付けられたビスを外し、下枠と左(右)枠を合せビスを取付けてください。(本締め)
- ⑥ 枠の形を整え、仮留めした上枠と左右枠の組立ボルトを本締めしてください。
- ⑦ クランプ付き取付金具を組立てた枠に取付けてください。(4箇所)
- ⑧ 外枠を持ち上げ、取付金具のクランプを単管下地に固定してください。
- ⑨ 引違い戸の出幅を取付金具のクランプの調整穴で合せボルトで固定してください。(4箇所)
- ⑩ 現場側(奥)から扉を枠にはめてください。
- ⑪ 扉下部左右のコマ(車輪の高さ)を、扉が水平になる様、調整してください。(右部写真参照)
- ⑫ 扉上部の外れ止めを調整してください。(右部写真参照)
- ⑬ ドアの動作に問題がないか確認してください。

■ セット内容物

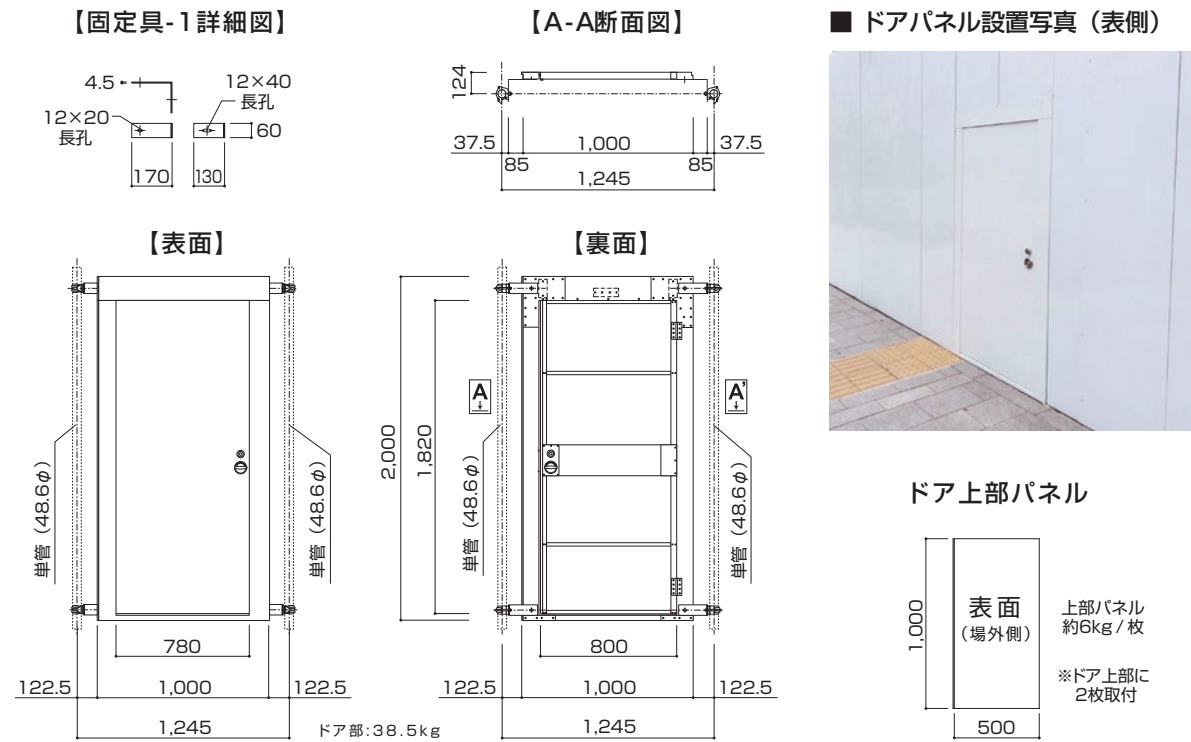
- ① 上枠・下枠・右枠・左枠・扉・クランプ付きL型金具×4 (上枠全ての穴に接続用ボルトセット、左右枠穴にビスが付属しています。)



【使用上のご注意】

- 1) 強風が吹きつける恐れのある所には、設置しないでください。扉が外れ、事故や怪我に繋がる恐れがあります。
- 2) レールに衝撃を与えたり、硬い物を当てないでください。扉が外れ、事故や怪我に繋がる恐れがあります。
- 3) 引違い戸に物を立てかけたり寄りかかたりしないでください。扉が外れ、事故や怪我に繋がる恐れがあります。
- 4) 外れ止めを確実に調整してください。扉が外れ、事故や怪我に繋がる恐れがあります。
- 5) 必ず水平に設置してください。扉が動き、怪我をする恐れがあります。
- 6) 固定元となる単管は確実に固定してください。事故に繋がる恐れがあります。
- 7) ワッシャー・スプリングワッシャー等を紛失しない様に注意してください。
- 8) 外枠の持ち運びは、2名以上で行ってください。
- 9) クランプを取付けている調整用のボルトは外さないでください。
- 10) 動きが悪い時は、無理に動作させず、再調整してください。

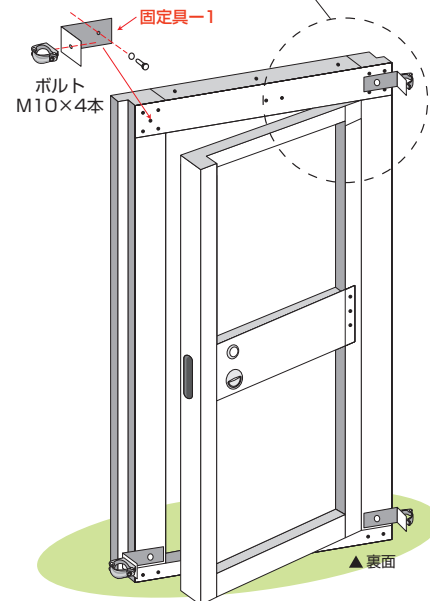
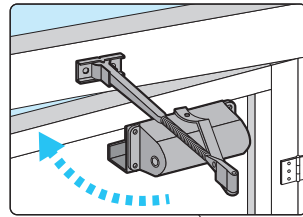
ドアパネルの主な仕様



ドアパネル使用の手引き

■ 固定具取付け要領 (イメージ図)

ドアクローザー (オプション) 取付け図



(ドアパネルは、ドア本体とドア枠より構成されます。)

■ ドアパネルの取付け方法と取付け手順

- ① 梱包解体後、地面に水平に仮置きした状態で、ドアパネルの四隅の“固定具-1”をM10ボルトおよび座金にて、所定の位置に仮止めする。
- ② ドアを垂直に立て、左右前後水平になるように調整し、四隅の“固定具-1”を単管に本締めする。(単管への取付け状況は、製品図参照)
- ③ 設置後のドアパネルの上に、アドフラット標準パネルをセットし、金具にて単管に取付け、ドアパネル上部を形成する。(3m高さのアドフラットの場合、1m長さの標準パネルを2枚使用する)

■ ドアクローザー (オプション) の取付け方法と手順

- ① ドアを設置する。
 - ② 取付ける前に、ドアパネルが正しく水平に設置されている事を確認する。
 - ③ ドアクローザーは、ドアパネル設置完了後、付属のネジにて所定の位置に取付ける。
- 詳しくは「ドアクローザー取扱説明書」を参照して下さい。

注) 正しく水平に設置されるよう注意して下さい。水平に設置されないと、ドア本体とドア枠に隙間が生じる場合があります。また、クローザーの調整がむずかしくなります。機種によっては、使用できないものがありますので、ドアクローザーは、弊社に御注文頂くか、弊社営業担当者にお問い合わせください。

● ドアパネル本体重量: 38.5kg (H=2000mm)

※ 製品開発上の都合により予告なく仕様を変更することがありますのでご了承ください。

アドフラットドア ボタン錠ドアノブ 補助錠付

防犯性アップ (補助錠)

ボタン錠に合わせ、補助錠が付いているので、防犯性もアップし、不法侵入を格段に抑止します。

扉を閉めると施錠 (ボタン錠)

扉を閉めると自動的に施錠し鍵の掛け忘れを防ぎ、優れた防犯性能を発揮します。室内側からはハンドル操作のみで解錠します。

記憶番号の変更 (ボタン錠)

ドアから製品を外し、室外側本体の裏面に配置しているロックピンを回転させることで記憶番号の変更ができます。

記憶番号が多い (ボタン錠)

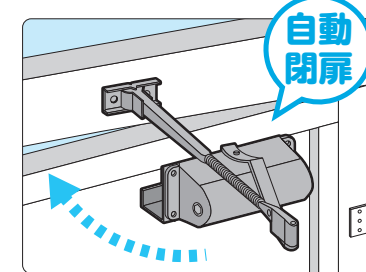
記憶番号1桁～12桁まで任意番号組み合わせが4096通りあります。

空錠切替機能 (ボタン錠)

簡単な設定で扉を閉めても鍵がかからない状態【空錠】にできます。入室が多い場合に便利な機能です。(自動施錠タイプに標準設定)

ドアクローザー (オプション)

開けられた扉を自動的に閉めるので作業の円滑性、安全性を高められます。

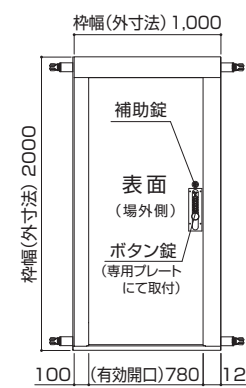


※ アドフラットドア写真は、イメージ合成です。

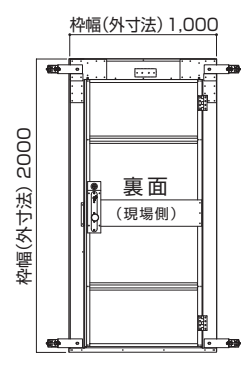
製品図

単位(mm)

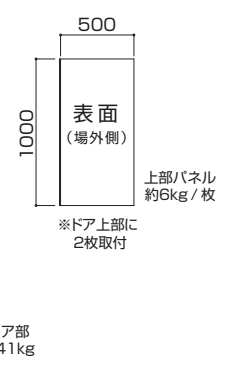
立面図 (ドアパネル部・表)



立面図 (ドアパネル部・裏)



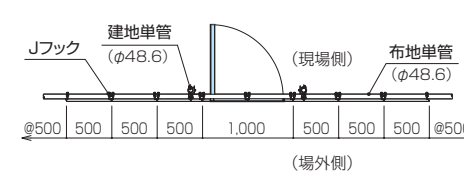
立面図 (ドア上部パネル)



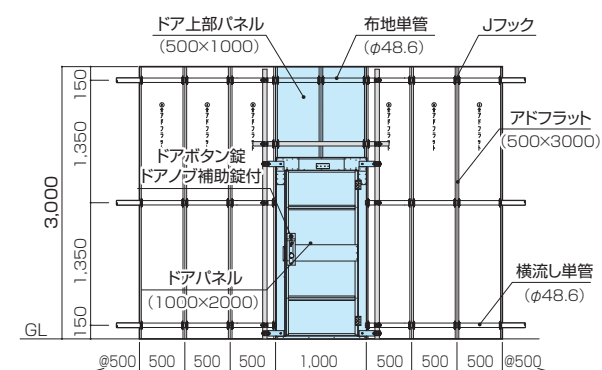
設置図

単位(mm)

平面図 (h3000mm仕様)

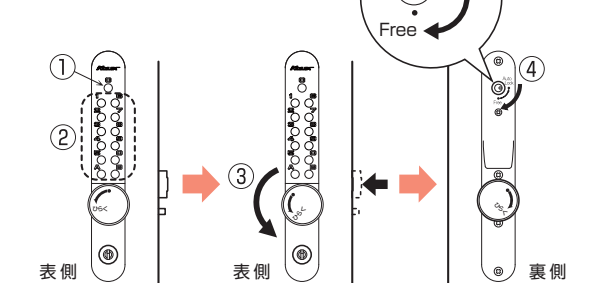


立面図 (現場側・h3000mm仕様)



空錠 (鍵がかからない状態) への切替方法

空錠切替プラグで、扉を閉めても鍵がかからない状態【空錠】にすることができます。([Auto Lock]から[Free]) [Free]から[Auto Lock]へは、ドアノブを回したまま、室内側の空錠切替プラグを[Free]から[Auto Lock]にします。

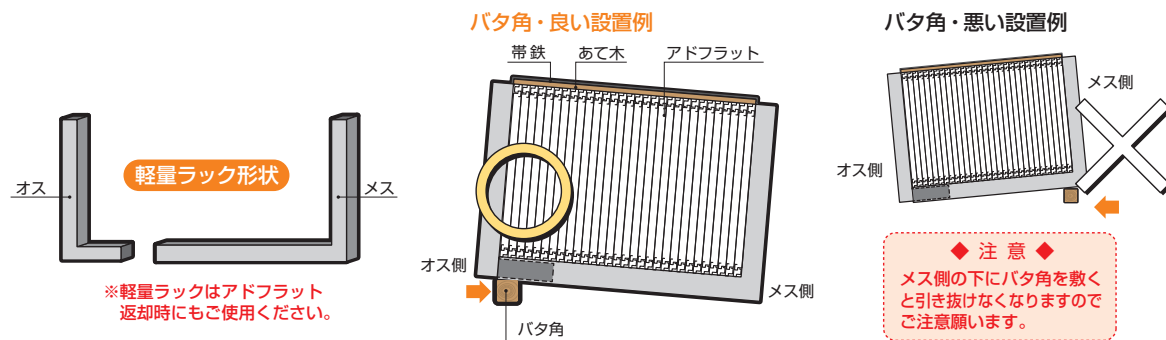


- ① Cボタンを押し
- ② 正しい記憶番号を押します。
- ③ ドアノブを回したまま(デッドラッチが引き込まれる)
- ④ 室内側の空錠切替プラグを[Free]側に切替えます。

注) 故障の原因となりますので、必ずドアノブを回した状態にして空錠へ切替えてください。

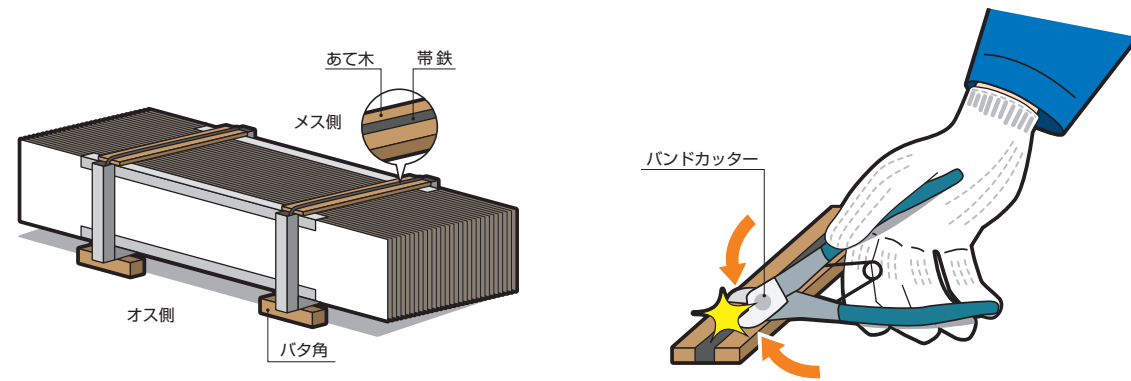
アドフラットの開梱手順

- ① 梱包されたアドフラットの軽量ラック、オス側を持ち上げるようにラックの下へバタ角 (60~70ミリ角) 等を敷いて下さい。



- ② ラック組されているアドフラットの帯鉄をバンドカッター等で切断して下さい。

※切断した帯鉄で怪我をする恐れがありますので、外側に折り曲げる等適切に処理をしてください。

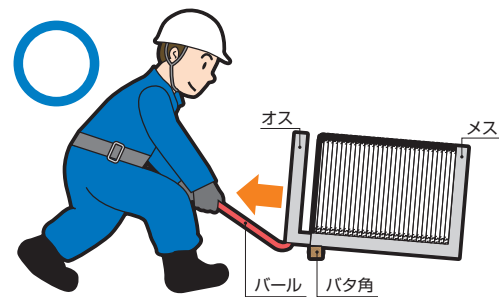


- ③ ラックのオス側を手前に引き抜いて下さい。手で外れない場合には、オス側のラックの下の凹みにボール等を入れ、手前引き抜いて下さい。

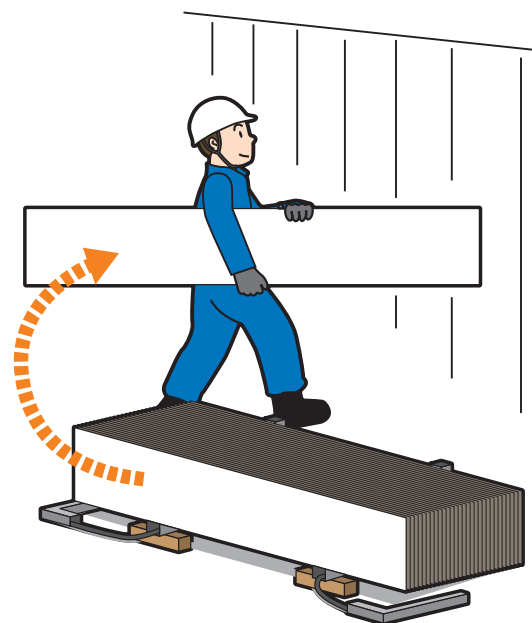
※ラックの端部が鋭利になっており、怪我をする恐れがあります。軍手等の保護具を必ず着用してください。

※ボールを使って引き抜く際に、力を掛け過ぎるとラックがバタ角から落ちてしまうことがあります。ご注意ください。

※体重を掛けて、一気に引き抜くと転倒の恐れがあります。ご注意ください。



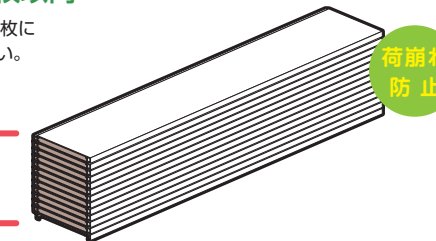
- ④ アドフラットパネルを1枚ずつ取り出してご使用下さい。



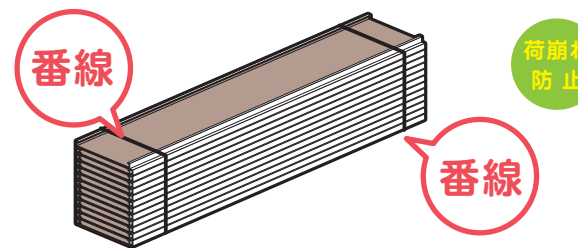
返却時のお願い

1束25枚以内
1束最大25枚に
してください。

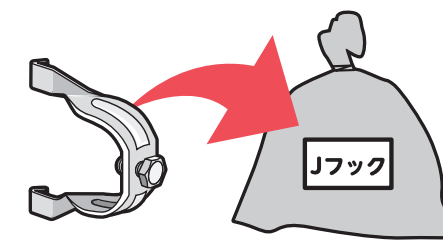
最大
25枚



束の両端に番線を掛ける

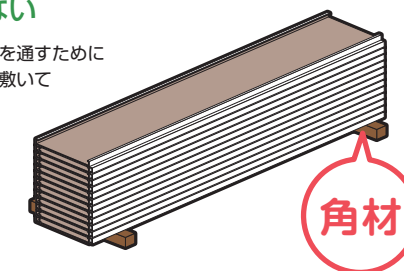


金具類は袋に入れて返却



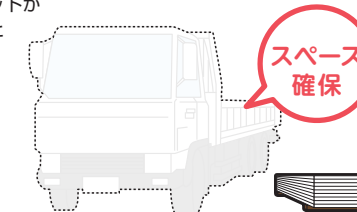
直置きしない

スリングベルトを通すために
必ず角材などを敷いて
ください。



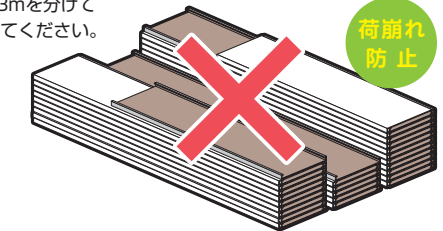
引き上げる場所に車輛のスペースを確保

引き上げるアドフラットが
車輛から離れていると
重量物の引き上げが
できません。



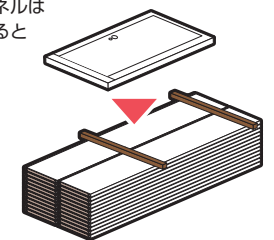
束の高さ(枚数)長さ(2m/3m)を揃える

高さを均等に揃えてください。
2mと3mを分けて
束にしてください。



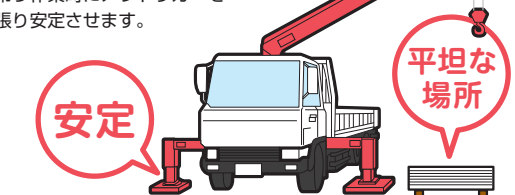
ドア・ミニドアパネルは上に積む

ドアパネル・ミニドアパネルは
アドフラットの下に入れると
破損の原因になります。



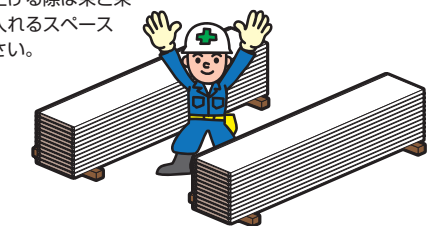
平坦な場所に置く

アドフラットは平坦な場所に置いてください。
吊り作業時にアウトリガーを
張り安定させます。



束と束の間隔を空ける

複数束を引き上げる際は束と束
の間隔に人が入れるスペース
を開けてください。



吊具は必ずスリングベルトを使用

ワイヤーで吊ると滑り危険なため、
必ずスリングベルトを
ご使用ください。

